



附属図書館の改修を支援



第
9
号

平成30年度

帯広畜産大学基金報告



帯広畜産大学

目 次

学長挨拶	1
平成30年度帯広畜産大学受入実績	2
平成30年度収支決算	3

学生修学支援事業基金

平成30年度大学基金奨学生との懇談会を開催	4
-----------------------------	---

《感謝の言葉》

奨学生から	5
授業料免除学生から	11

大学運営支援事業基金

《社会貢献活動の支援に関する助成》

ちくだいらんぷ事業	15
-----------------	----

その他

賛助会員名簿及び寄附者御芳名	16
感謝状の贈呈	25
各同窓会支部会等への出席	26
「ちくだいホームカミングデー 2018」を開催	27
大学基金運営委員会委員名簿	28
大学基金に関する規程	29

学長挨拶

帯広畜産大学の教育・研究活動に対しまして、皆様のご理解と暖かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

皆様に本基金へのご賛同、ご寄附をいただきましたお陰で、近年は寄附額も増加してきており、重ねてお礼申し上げます。

平成30年度は、前年に引き続き各地で開催された同窓会等でご支援をお願いいたしましたほか、「ちくだいホームカミングデー」でもお願いして参りました。

また、卒業生・修了生の皆様、学生保護者の皆様に大学基金パンフレットを郵送し、ご協力依頼をさせていただきました。

ご寄附いただく方の利便性向上のため、平成30年2月からは、クレジットカード決済、コンビニ決済、ネットバンク決済の取り扱いも始め、利用される方も増加しています。

皆様の多大なるご協力により、平成30年度は前年比20%の増額となり、改めてお礼申し上げます。ご支援いただいた寄附金は、家計が困窮している優秀な学生への奨学金給付、入学料免除、授業料免除等を中心に、学生による地域での社会貢献活動への助成として大切に使用させていただきました。ここに、ご報告申し上げます。

今年度はさらに、老朽化が激しい附属図書館改修工事の費用の一部を助成すると共に、奨学金給付事業も拡充いたします。

帯広畜産大学基金では、意欲と能力のある学生が学びの機会を諦めることのないよう、今後も支援を手厚くしていくと共に、施設の改修により修学環境を整備していく考えです。そのためには、安定した財政基盤が大変重要です。

引き続き皆様からのご支援を賜りたく、是非とも継続的なご協力をお願い申し上げます。

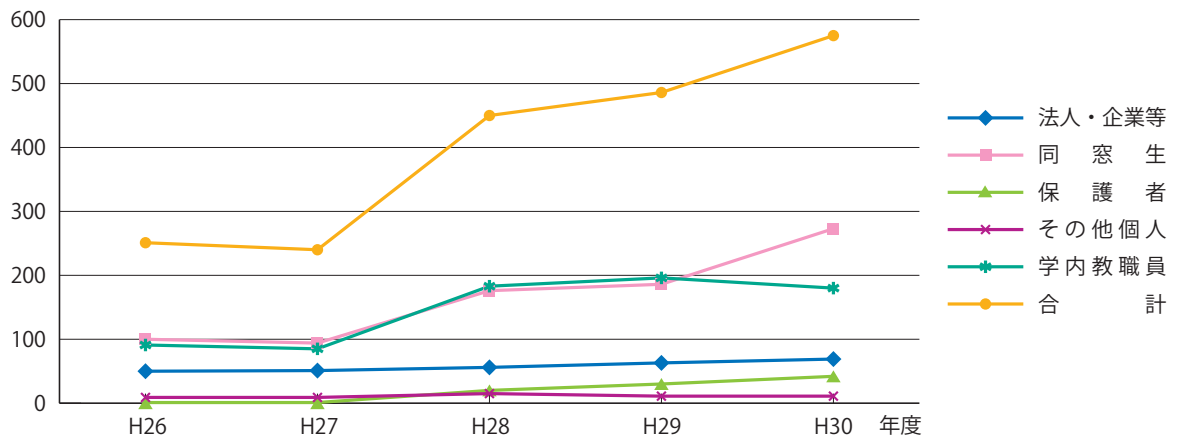


国立大学法人帯広畜産大学
学長 奥田 潔

平成30年度帯広畜産大学基金受入状況

件数 (件)

基金への寄附件数

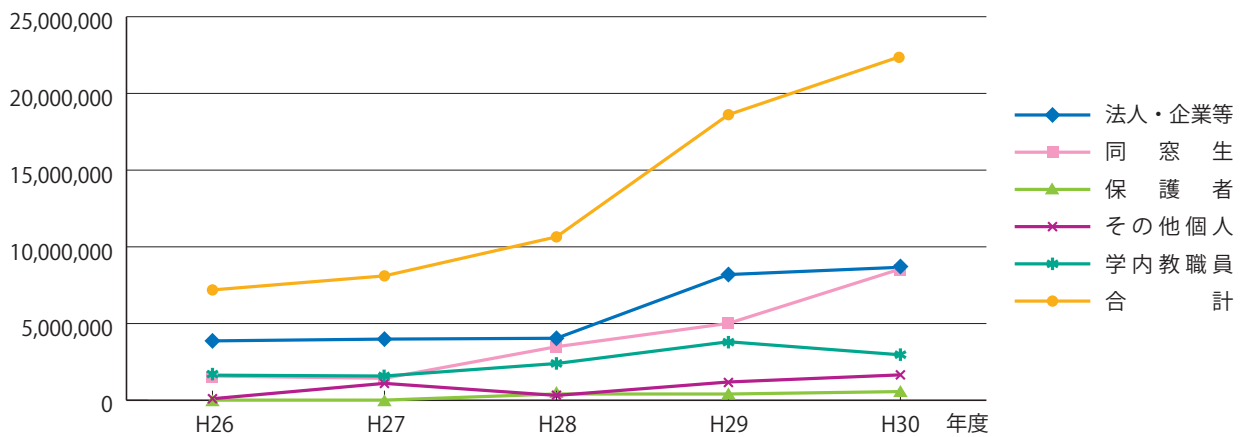


(単位: 円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	年間	年間	年間	年間	合計	学生修学支援	大学運営支援
法人・企業等	50団体	51団体	56団体	63団体	69団体	2団体	67団体
学外個人	110名	104名	211名	227名	326名	311名	15名
同窓生	100名	94名	176名	186名	273名	265名	8名
保護者	1名	1名	20名	30名	42名	36名	6名
その他個人	9名	9名	15名	11名	11名	10名	1名
学内教職員	91名	85名	183名	196名	180名	179名	1名
賛助会員	91名	85名	102名	105名	93名	92名	1名
ワンコイン賛助会員	—	—	81件	91件	87名	87名	—
合計	251件	240件	450件	486件	575件	492件	83件

金額 (円)

基金への寄附金額



(単位: 円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	年間	年間	年間	年間	合計	学生修学支援	大学運営支援
法人・企業等	3,870,000	3,986,000	4,040,000	8,194,000	8,668,380	64,500	8,603,880
学外個人	1,685,000	2,541,000	4,215,000	6,608,000	10,776,000	10,636,000	140,000
同窓生	1,575,000	1,431,000	3,490,000	5,012,000	8,556,000	8,476,000	80,000
保護者	10,000	10,000	410,000	406,000	565,000	510,000	55,000
その他個人	100,000	1,100,000	315,000	1,190,000	1,655,000	1,650,000	5,000
学内教職員	1,635,000	1,580,000	2,394,500	3,812,500	2,962,000	2,952,000	10,000
賛助会員	1,635,000	1,580,000	1,880,000	2,775,000	1,646,000	1,636,000	10,000
ワンコイン賛助会員	—	—	514,500	1,037,500	1,316,000	1,316,000	—
合計	7,190,000	8,107,000	10,649,500	18,614,500	22,406,380	13,652,500	8,753,880

平成30年度 収支決算

収入の部

(単位：千円)

区 分	件 数	金 額
法 人 ・ 企 業 等	69	8,668
同 窓 生	273	8,556
保 護 者	42	565
そ の 他 個 人	11	1,655
教 職 員	180	2,962
小 計	575	22,406
利 息 収 入 等	—	3,361
合 計	575	25,767

支出の部

(単位：千円)

項 目		金 額
学 生 修 学 支 援 事 業 基 金		
授 業 料 等 免 除 事 業	授業料免除12名，入学料免除 4 名	2,735
学 資 給 付 事 業	学部生 9 名，大学院生 8 名	7,560
小 計		10,295
大 学 運 営 支 援 事 業 基 金		
社会貢献活動支援事業	ち く だ い ら ん ぶ 事 業	2,500
小 計		2,500
合 計		12,795

収 支 差 額	12,972
---------	--------

平 成 30 年 度 期 首 残 高	280,902
--------------------	---------

平 成 30 年 度 期 末 残 高	293,874
--------------------	---------

平成30年度大学基金奨学生との懇談会を開催

11月19日（月）に、本部棟大会議室において、平成30年度大学基金奨学生との懇談会を開催しました。

この懇談会は、同奨学生に大学基金の趣旨を理解し、有効に使用してもらうことを目的に開催しています。

最初に、野並基金・広報戦略室長から、「大学基金の奨学金は、その趣旨に賛同をいただいた企業・団体、同窓生及び教職員等からの寄附であり、奨学生の皆さんの修学に有効に活用していただきたい。本学を卒業または修了し、就職した際には、後輩の支援のために大学基金の賛助会員として寄附をお願いしたい。」との説明がありました。

続いて奥田 潔学長から、「大学基金は、学生を応援したいという寄附者の気持ちが込められていることを忘れず、今後も勉学に励んで欲しい。また、大学を離れた後は、感謝の気持ちが後輩へと繋がるように支援をお願いしたい。」とのお話がありました。

その後の懇談会では、各奨学生から、現在の研究内容や学生生活についての自己紹介がありました。来年度に本学大学院へ進学する際の入学資金、本州を中心に就職活動をした際の費用、学会参加費や専門書の購入等の学費、親に頼らないための生活費等として活用することで、充実した学生生活を送ることができている、と各奨学生から感謝の言葉がありました。



奥田学長（前列中央）と大学基金奨学生
柳川理事（後列左）、山岸副学長・事務局長、野並基金・広報戦略室長、（後列右）

奨学生からの感謝の言葉

「多くのことを学び、今後の糧にしていきたいと思います。」

畜産科学課程 2 年 温水 なあり



この度は昨年度に引き続き、帯広畜産大学奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。奨学金の給付により、生活費工面にと考えていた時間をより専門的になってきた勉学に充てることができました。講義では家畜の生体について栄養面・管理面・生体機能面など様々な視点から学び、家畜生体そのものに興味を持つに加え、家畜生体に関与する細菌・公衆衛生面などについても学ぶことであらゆる視点からの見聞を広めることができた1年となりました。残り2年の学生生活を充実したものにし、支援していただいたことに感謝しながら多くのことを学び、今後の糧にしていきたいと思います。

「支えてくださる方への感謝を忘れずに勉学に励んでいきたいと思います。」

畜産科学課程 1 年 矢代 麗菜



この度は、帯広畜産大学基金に採用していただき、誠にありがとうございます。私は、学費や生活費を自分で負担しているため、アルバイトをしています。奨学金を給付していただいたことにより、アルバイトを減らすことができ、勉強の時間を増やすことができました。私はこの1年、様々な講義を受けてきましたが、その中でも「豚の飼育実習」が強く印象に残っております。飼育から屠畜、加工を通して実習したことで、私達が食べるまでにどのような経緯があるのかを学び、命を頂くということを深く理解することができました。ご支援していただいた皆様には、大変感謝しております。今後も、支えてくださる方への感謝を忘れずに勉学に励んでいきたいと思います。

「集中して勉学に励むことができます。」

共同獣医学課程 2 年 安倉 悠



この度は帯広畜産大学基金奨学生に選出していただき、誠にありがとうございました。私は本学畜産科学課程を卒業後、昨年共同獣医学課程に再入学し現在2年目の大学生活を送っています。前年度までは既修得単位があったため授業は少なく、経済的援助を受けずにアルバイトで生計を立てていましたが、今年度は奨学金を受給させていただいたおかげで集中して勉学に励むことができます。現在は研究室には所属しておらず、具体的にどのような分野へ進むかは未定ですが、大動物臨床や繁殖学の分野に興味を持っています。基礎分野の学習を軽んじることなく、将来幅広い分野に精通した獣医師として活躍できるよう、学外での活動においても積極的に学ぶ姿勢を心がけます。

「この1年を無事終えることができたのは本奨学金のおかげです。」

畜産科学課程3年 川村 香純



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただきありがとうございます。私はまだ3年生ですが早期卒業をするため、この1年は非常に大変でした。通常の授業に加え、卒業研究であるマウスを用いた原虫感染症へのビタミンE誘導体の効果についての研究も行いました。また、部活動では弓道部の部長を務めさせていただき、第64回全道学生弓道争覇戦においては個人準優勝という結果を収めることができました。この1年を無事終えることができたのは本奨学金のおかげです。また、来年度からは本学大学院へ進学予定のため、さらに高度な知識や技術を身につけ、社会に貢献できるような人間になれるよう、より一層努力していきたいと思っています。

「奨学金の給付により研究へ集中して取り組むことができました。」

畜産科学課程4年 佐藤 夕夏



この度は、奨学金を給付していただき心よりお礼申し上げます。4年生となり研究の本格化に伴いアルバイトとの両立が難しい中、奨学金の給付により研究へ集中して取り組むことができました。私は、気候変動問題が生じている現在、発電効率の良い洋上風力発電をどこに建設すれば人に都合がよく、また海鳥にもリスクが少ないか、ということを中心にオオセグロカモメにGPSを装着して調査を行い、マップを作成しています。今回奨学生としてご支援いただいた分、今後は恩返しをしていけるよう、本学の大学院へ進学し努力していきたいと思っています。この度は帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき誠にありがとうございました。

「研究成果を社会に還元できるように日々邁進して参ります。」

畜産科学課程4年 中畑 量平



この度は帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき、心から御礼申し上げます。今年度は卒業研究と大学院入試、さらに編入生であったために講義も受講する必要があり、生活費を自力で稼ぐ余力がありませんでした。しかし、給付型奨学金のおかげで学業および研究に集中することができました。卒業研究では、記憶形成に重要な遺伝子とその分子機構を推定する目的でキイロショウジョウバエのRNA-seqのデータを網羅解析しました。来年度は東北大学で自閉症の発症機構に関して研究する予定です。今後も寄付してくださった皆様への感謝の気持ちを忘れずに、研究成果を社会に還元できるように日々邁進して参ります。この度は誠にありがとうございました。

「自分のやるべきことに集中できたのは、皆様のご支援があったからこそだと深く感謝いたします。」

畜産科学課程 4 年 畑 真利子



この度は、帯広畜産大学基金に採用していただき、誠にありがとうございました。いただいた奨学金は、就職活動の費用や生活費に使わせていただきました。私は卒業研究で、食事による大腸ガン予防を目指し、マウスを使った実験を行いました。特に、酒米と酒かすの機能性に重点を置き、研究に励みました。この一年間は卒業年度ということで、就職活動や卒業研究などで忙しく、アルバイトの時間もあまり取れませんでした。しかし、経済面で深刻になることなく、自分のやるべきことに集中できたのは、皆様のご支援があったからこそだと深く感謝いたします。4 月からは新社会人になりますが、大学ひいては社会に多くを還元できる人間になるべく、これからも精進して参ります。

「研究に専念することが出来ております。」

畜産科学課程 4 年 平田 博史



この度は帯広畜産大学基金の奨学生として採用していただき、誠にありがとうございます。いただいた奨学金のおかげで、ゆとりを持って研究に専念することが出来ております。私は現在、大西一光准教授のもとで古代小麦の 1 つである「スペルトコムギ」について研究をしています。スペルトコムギはパンコムギ（普通のコムギ）と比較すると、風味が良い、やせた土地でも育つなど様々な利点を持っております。そのような特徴に関する遺伝子を見つけ、パンコムギの育種に利用することを目標としています。研究が高じて、スペルトコムギが好きになりました。大学院ではこの研究と並行して十勝で普及活動も行う予定です。スペルトコムギという素晴らしい小麦を皆さまの手元に届ける基盤を作ることで帯広畜産大学基金に携わる方々へ恩返しができればと思います。

「社会に貢献していきたいと思います。」

畜産科学課程 4 年 木下 円



この度は帯広畜産大学基金奨学金を授与していただき、誠にありがとうございました。私は、卒業研究で「ヒツジの寄生虫数と生理状態に与える山間放牧の影響」を調査しました。近年、めん羊生産において消化管内寄生虫の薬剤耐性が問題となっており、薬剤だけに依存しない寄生虫管理として山間放牧を検討しました。この1年間、奨学金を頂いたことで研究活動に集中することができ、また研修やインターンシップで様々な経験を得ることができました。今後は、多くの方に支えられて送ることができた学生生活を活かし、社会に貢献していきたいと思います。

「皆様の温かいご支援により研究に専念することが出来、本当に感謝しております。」

畜産科学専攻 1 年 宮崎 彩乃



この度は、帯広畜産大学基金奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。大学院より動物医科学コースに進学、獣医解剖学研究室に所属し「ハブスオウギハクジラ (Mesoplodon carlhubbsi) の機能形態学的解析」というテーマで研究に励んでいます。北海道沿岸部に漂着した希少鯨類の頭部をCT撮像し、未解明であった骨格と軟部組織を含めた解剖学的知見を非破壊的に得ることが可能となりました。ハクジラ類が採餌や環境認知に用いる超音波放射・受容機構に注目し、立体構築した画像の解析や肉眼解剖の結果から頭部構造を記述し考察しています。皆様の温かいご支援により研究に専念することが出来、本当に感謝しております。

「研究に多くの時間を割くことができます。」

畜産科学専攻 1 年 大吞瑠莉花



この度は、帯広畜産大学基金へ寄附して頂き、ありがとうございます。私は親の年齢のことを考慮したときに、負担をかけられなかったため、この奨学金に申請させていただきました。奨学金を頂けたことで親にほとんど負担をかけることなく生活できており、また、研究に多くの時間を割くことができます。私は現在、人医の臨床検査センターで使用されているヒト用キットを用いた電気泳動法で乳牛の骨型アルカリフォスファターゼ（骨型ALP）を測定しています。骨型ALPはヒトでは骨粗鬆症の診療に応用されています。乳牛では分娩前後の母牛やその産子の健康評価への応用を目指して研究に励んでいます。今後も、周りの方への感謝を忘れずに学生生活を送っていききたいと思います。

「帯広畜産大学基金奨学生に採用頂き誠にありがとうございます。」

畜産科学専攻1年 平川 健太



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用頂き誠にありがとうございます。お陰様で、大学院で研究をすることができました。私の所属している研究室では、スフィンゴ脂質と呼ばれる脂質の機能性を研究しています。グルコシルセラミド（G l c C e r）はスフィンゴ脂質の一種であり、動植物や真菌類に広く分布しています。当研究室では、これまでに精製G l c C e r 投与による大腸炎症および大腸がん抑制作用を報告しており、G l c C e r の持つ腸への食品機能性が期待されています。そこで私は米およびその加工品に含まれるスフィンゴ脂質について分析し、より効率よく人の健康に寄与することのできる加工・調理法について探索しています。来年度も授業や研究から様々なことを学び、今後の人生に活かしていきたいと思います。

「奨学金のおかげで、金銭面の心配が軽くなり、研究に打ち込むことができました。」

食品科学専攻2年 紙居 真央



この度は、帯広畜産大学基金奨学金を授与していただきありがとうございます。奨学金のおかげで、金銭面の心配が軽くなり、研究に打ち込むことができました。私は、パンに関する研究を行う研究室に所属し、消費者の健康意識に配慮した高品質のパンを研究のテーマとして行いました。特に、有用成分を含有するパンの製造や食品添加物使用低減といった製パン業界で解決すべき課題に注目をし、実験成果を出すことができました。何度も失敗をし、日々実験に取り組み続けたことで、このような成果を得ることができたと思います。実験に打ち込むことで、諦めずに挑戦し続けることの大切さを学びました。奨学金を寄付してくださった方々に感謝を忘れずにこれからも挑戦し続けます。

「これまで支えてくださった多くの方への感謝の気持ちを忘れず努めてまいります。」

畜産衛生学専攻2年 瀧澤 晃生



この度は、大学基金奨学金に採用いただきありがとうございます。私はこの1年間、大学院において畜産衛生学を専攻し、ヒアルロン酸関連因子のウシ黄体退行および卵胞閉鎖への関わりについて研究してきました。経済的理由によりアルバイトせざるを得ない状況でしたが、おかげさまで研究および就職活動に時間を割くことができました。現在は社会人として働くことへの期待と不安の気持ちでいっぱいです。大学生活を通して学んできたことを存分に発揮するとともに、これまで支えてくださった多くの方への感謝の気持ちを忘れず努めてまいります。大学基金奨学金に寄附してくださった方々、ならびに大学職員の方々に心より感謝申し上げます

「奨学金を給付していただいたおかげで、この1年、学業・研究に専念することができました。」

資源環境農学専攻 細矢 千佳



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございました。私は、学部時代から継続して「昆虫寄生菌を用いたアブラムシの防除」をテーマに研究を行ってきました。生き物を相手にしているため、一度実験を始めると長期間拘束されることが多く、アルバイトの継続が困難となったため大学基金で支援していただくこととなりました。奨学金を給付していただいたおかげで、この1年、学業・研究に専念することができました。今後も支援してくださった皆様への感謝の意を忘れる事なく、研究に取り組んでいきます。

「ご支援いただいた皆様への感謝を忘れず、社会や大学に恩返しできるよう、より一層勉学に励んで参ります。」

畜産生命科学専攻2年 三塚 若菜



この度は、帯広畜産大学基金奨学生として採用していただき、心より御礼申し上げます。現在、私はエゾリスやエゾモモンガの季節的な毛色変化について研究しています。今年度、私は研究と就職活動を同時進行しなければならず、アルバイトへ時間を割く余裕がありませんでした。加えて、私は道外での就職活動が多く交通費等で経済的に苦しい状況でした。そのなかで、奨学金を授与していただいたおかげで、研究と就職活動に集中することができ、無事希望する就職先から内定を頂くことができました。また、研究も順調に進めることができ、現在は海外の論文雑誌への掲載を目指しています。今後も、ご支援いただいた皆様への感謝を忘れず、社会や大学に恩返しできるよう、より一層勉学に励んで参ります。

「社会に貢献できるよう努力したいと考えています。」

食品科学専攻2年 山本 真寛



この度は、帯広畜産大学基金奨学生に採用頂きましたこと誠に感謝致します。奨学金を給付して頂いたことで、経済面での不安が薄れ、心にゆとりを持つことが出来ました。お陰様で、この一年は就活や研究活動と多忙でありながらも充実した学生生活を過ごさせて頂きました。私は食品科学を専攻しており、食品による疾病予防・改善を研究テーマとしています。特に脂質の機能性に注目し、肝炎や大腸ガンなどに対する保護作用を検討する中で、動物実験や細胞実験、機器分析など様々な実験を行ってきました。私は来年度から社会人となります。今後はこの経験で得られた知識や思考力を活かし、社会に貢献できるよう努力したいと考えています。

授業料免除への感謝の言葉

「授業料免除をしていただき、勉学に専念することができました。」

畜産科学課程 4 年 藤岡 祐太



私は今年度春をもちまして本学畜産科学課程農業経済学ユニットを卒業致します。授業料免除をしていただき、勉学に専念することができました。厚く御礼申し上げます。卒業研究では、農業経済学ユニットの学生としてはイレギュラーな研究課題ではありましたが、北海道で展開するコンビニであるセイコーマートの経営分析を行いました。

本学の基盤教育で、日本の農畜産業の現状と課題にとどまらず、様々な学術領域の分野への理解を深めることができました。また、卒業研究では、課題を解決するための着眼点や分析方法を学ぶことができました。

本学で学んだことを活かし、一社会人としての自覚を持って諸問題の解決に寄与できるよう努める所存であります。

「支援してくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できる人材になれるよう、より一層努力してまいります。」

畜産科学課程 3 年 木全沙弥香



この度は、帯広畜産大学基金により授業料免除していただきましてありがとうございます。私は、帯広畜産大学環境工学ユニット辻研究室に在籍しております。そこで河畔林の減災効果についての研究を行う予定です。現在は研究を行うにあたってGISという画像解析方法を用いるため、その使用方法、原理などを学習しています。来年度より画像解析を本格的に開始し、北海道の減災の一助となるよう研究を行いたいと考えております。

支援してくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、社会に貢献できる人材になれるよう、より一層努力してまいります。最後になりますが、帯広畜産大学基金に携わる皆様にお礼申し上げます。

「帯広畜産大学基金へご寄付いただいた皆様に深く御礼申し上げます」

共同獣医学課程 4 年 今地美紀子



この度は、帯広畜産大学基金からのご支援を賜り、大学で勉強を続けさせていただけますことを、大変幸せに感じるとともに、帯広畜産大学基金へご寄付いただいた皆様に深く御礼申し上げます。入学してから四年がたち、四年生の後期から研究室に所属することができました。所属してからまだ日が浅いため、現在、研究などは行っておりませんが、指導してくださる先生方、先輩方に同行させてもらい、産後牛の検診や、調子のよくない牛の治療など、牛の健康に関わることに学んでおります。来年度からは特に興味のあることについて詳しく勉強し、研究していく予定です。このように皆様のお陰で勉強できること、大変嬉しく思います。重ねて御礼申し上げます。これからも日々精進してまいりますので応援の程よろしくお願い致します。

「学業に専念することができています。」

畜産科学課程 3 年 北川 航大



この度は授業料を免除していただき誠にありがとうございます。帯広畜産大学基金のご支援により、母子家庭で裕福ではないにも関わらず、学業に専念することができています。現在では、植物成長促進細菌と言われる植物と共生関係を築く微生物が植物に与える影響について研究しており、先行研究から、植物に高温や乾燥といった環境ストレスへの抵抗性を付与することがわかりました。近年、地球温暖化などの異常気象の多発や砂漠化の進行など、植物の生育が困難になっています。そのような状況において、本学のスローガンである「農場から食卓まで」を手助けできる研究をおこなえるよう努める所存でございます。

「獣医師という目標に向かってこれからも日々邁進してまいります。」

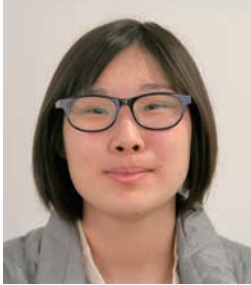
共同獣医学課程 1 年 竹内ヘラルド



この度は、帯広畜産大学基金のご支援により、授業料免除を許可していただき誠にありがとうございます。私は家計が厳しい状況にありながらも二年間浪人をしたため、母にはかなりの負担をかけてしまいました。大学生活においては親に負担のかからないように自身でやりくりすると決めていましたが、奨学金とアルバイトで生活費と学費の両方を工面することは大変困難であることがわかりました。授業料が免除されたことにより勉学に多くの時間を割くことができ、様々なことを身につけることが可能になりました。皆様の支援により充実した学生生活が送られていることを忘れず、獣医師という目標に向かってこれからも日々邁進してまいります。

「これからも日々勉学に励み、精進していく所存です。」

畜産科学課程3年 岡田 珠緒



この度は帯広畜産大学基金のご支援により、大学での勉学に励むことが出来ることを深く感謝申し上げます。私は現在学部三年生でありご支援のお陰で希望の研究室であった昆虫生態学研究室に在籍することとなりました。そこで私は北海道の在来マルハナバチと外来マルハナバチによる訪花の違いがカボチャの作物生産に影響するかを調べております。この研究によって在来種マルハナバチの必要性和にカボチャの生産効率を高める花粉媒介者の利用法についてを解明できるのではないかと考えております。このような取り組みが出来るのはすべて皆様のご支援のお陰で何とお礼を申し上げてよい言葉もございません。これからも日々勉学に励み、精進していく所存です。

「授業料免除をしていただき、勉学に専念することができました。」

畜産科学課程4年 高谷 龍馬



この度は、帯広畜産大学基金からのご支援により、授業料を免除していただき、心より感謝申し上げます。卒業研究では、2016年に十勝に導入されたマンガリツツアブタの成長と枝肉成績について研究を行いました。マンガリツツアは、ハンガリー原産で、脂肪の蓄積が特徴的なブタです。今後は大学院へ進学し、脂肪蓄積に関する遺伝子について研究を行う予定です。授業料免除を受けられたことで、研究活動や論文執筆に集中して取り組むことができました。今回、ご支援いただいた感謝を胸に、勉学、研究活動に励んでいきます。ありがとうございました。

「授業料免除のおかげで講義やサークル等の大学生活に打ち込むことができます。」

畜産科学課程2年 三上 雅輝



僕は兄弟4人の母子家庭で育ってきました。そんな中受験に失敗し経済状況が厳しい中で浪人してしまい大学進学もままならい程母親を苦しめてしまいました。そんな中、帯広畜産大学の授業料免除のおかげで、講義やサークル等の大学生活に打ち込むことができます。講義で、家畜は人間にとってとても大事な資源でありまだまだ研究が必要な分野であることを知り、将来はこの研究に携わるため、今はフィールドをメインに牛のことを学んでいます。これからも日々精進していきます。また、帯広畜産大学基金を支援してくださってる皆様に感謝申し上げます。

「授業料免除制度があったことにより大学4年間を無事に過ごせましたことを心より感謝申し上げます。」

畜産科学課程 4 年 神田 励耶



この度は、授業料免除制度により大学4年間を無事に過ごせましたことを心より感謝申し上げます。

私は、「平成28年北海道豪雨災害緊急客土圃場のUAV空撮画像による評価」というタイトルで卒業研究を行いました。平成28年に北海道を襲った4つの台風により十勝の農地が大きな被害を受け、その中でも特に被害が大きかった農地浸食による被害について研究を行いました。被災農地に行われた緊急客土をUAV空撮によって評価することはできないかということで研究を進め、研究の結果、UAVによる緊急客土の評価はできるという結論に至りました。このような充実した研究を行うことができたのは、授業料免除制度があったからこそです。研究以外にも部活動にも打ち込むことができ、大変感謝しております。ありがとうございました。

「この度は、授業料免除申請を許可していただきありがとうございます。」

畜産科学課程 3 年 ディエラ ナタリア



この度は、授業料免除申請を許可していただきありがとうございます。日本では母国のインドネシアと比べ物価がとても高いと感じて日本での留学生活は厳しい状況でした。親からの仕送りはないため、生活費はアルバイトで賄っていますが、学費を払うのは多くの時間がアルバイトにとられるので大きな負担となっていました。しかし帯広畜産大学基金の支援により、留学生である私は日本の部活の体験、食文化や趣味を深める時間を作ることができました。また、4年生に向かう今は、研究に集中し将来に役立つ技術を身に付けたいを思っています。大変感謝しており、これからもよろしく願いいたします。

「これまでにご支援いただいた感謝を胸に、より精進していきたいと思います。」

畜産生命科学専攻 2 年 橋本 滯奈



この度は、帯広畜産大学基金のご支援によって授業料免除の認定を受けることができましたこと、心から感謝いたします。修士研究として、タイリクモモンガの繁殖パターン（産仔数や仔の性比）に関する基礎生態学的研究を行いました。授業料免除を受けることができたおかげでアルバイトを減らすことができ、自身の研究活動に専念することができました。私が取り組んだ研究内容は基礎研究であり、皆様の生活の中で触れる機会是这样多くはないかもしれませんが、いつか、世間のどこかで必ず役に立つと信じています。修了後は、学部時代からの6年間の大学生活で学んだことを活かし、そして、これまでにご支援いただいた感謝を胸に、より精進していきたいと思います。

ちくだいらんぷ事業

ちくだいらんぷ事業を通じて、学生の地域志向を育み、卒業後も十勝の応援団として活躍する人材づくりを目的に、学生が中心となり、帯広・十勝の活性化を図る取組を応援しました。

1. 「十勝ジンギスカン会議2018」(2018年8月31日)

十勝の美味しいジンギスカン店や焼き肉店を全国にアピールすることを目的に学生が主体となって開催しているイベントで、今年度で4回目となりました。昨年度の反省を生かし、2018年度は金曜日の夕方に開催しました。途中から夕立が降りましたが、多くの方にご参加いただくことができました。



2. ちくだいらんぷプロジェクト

昨年度までの「学生企画プロジェクト」から「ちくだいらんぷプロジェクト」に事業名を変更，学生が参加しやすいように下記3コースに内容を拡充し，全12件の事業を採択しました。

スラックライン競技で世界一のプレイヤーを帯広に招聘した「本格スラックラインワークショップ」や，ミツバチを通じて農業の活性化を図る「BEEHAVE～ミツバチでまちも農業も活性化～」など，ユニークな企画を支援しました

(1) 文化スポーツコース

文化活動，スポーツ活動を通じて地域活性化を図るコース
実施7件 「本格スラックラインワークショップ」

「さあ世界へ！カーリング体験」 他

(2) おびひろ動物園活性化コース

おびひろ動物園の魅力向上を通じて地域活性化を図るコース
実施2件 「クイズラリー」「おびひろ動物園写真展」

(3) 十地方創生・地域活性化コース

自由な発想から地域活性化を図るコース

実施3件 「帯広・十勝の魅力再発見ツアー」

「BEEHAVE～ミツバチでまちも農業も活性化～」 他



謝辞 帯広畜産大学基金からのご支援で，多くの事業を実施することが出来ました。
心より感謝申し上げます。

賛 助 会 員 名 簿

(平成31年3月31日現在)

【企業・団体等】 (58団体)

(五十音順・敬称略)

【50万円】

日本甜菜製糖(株)

【30万円】

(株)土谷特殊農機具製作所

宮坂建設工業(株)

十勝農業協同組合連合会

【25万円】

帯広信用金庫

【20万円】

(株)十勝毎日新聞社

宮本機械(株)

ハラデンキ(株)

よつ葉乳業(株)

【10万円】

(株)ズコーシャ

宮本商産(株)

内外施設工業(株)

【5万円】

帯広ガス(株)

(株)平田建設

十勝信用組合

Y S ヤマショウ(株)

十勝農協連畜大同窓会

【2万円】

出雲ペットクリニック

山の下ペットクリニック

(株)ダイイチ

【1万円】

(株)伊豆倉組

(株)十勝生ハム製造研究所

(株)ウチダシスムテズ北海道支社帯広支店

バイオマスリサーチ(株)

(株)エヌシーおびひろ

富士金網製造(株)

(株)小澤建設

(株)山本忠信商店

(株)曾我

【企業・団体名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

(有)青田企画巧芸	十勝清水町農業協同組合
大槻理化学(株)	(有)十勝スロウフード
帯広地方卸売市場(株)	十勝地区農業協同組合長会
帯広商工会議所	(株)都市田園協働ファーム
川岸電設(株)	(株)日専連ジェミス
弘進ゴム(株)	北王コンサルタント(株)
士幌町農業協同組合	(株)北海道新聞社帯広支社
全国酪農業協同組合連合会	北海道電力(株)
大昭電気工業(株)	北海道農業協同組合中央会帯広支所
税理士法人竹川会計事務所	まいど家畜医院
デジタルグラフィックス(株)	三菱商事(株)北海道支社
東洋農機(株)	(株)柳月

不掲載希望 5 団体

【個人・学外】 (151名)

(五十音順・敬称略)

【10万円】

今田 忠夫	鈴木 一郎	林 克昌
鬼塚 義臣	出口 宣夫	

【7万円】

吉次 茂昭

【5万円】

長澤 秀行	名和 靖史
-------	-------

【2万5千円】

橋本 良行

【2万円】

有賀 秀子	久保田政男	藤村 裕一
石川 智之	下野 研一	森井 恒幸
石橋 憲一	藤田 淳	山下 博司
影山 晴久		

【1万円】

安藤 弘	高木 俊雄	松田 政明
石田 雅嗣	高田 薫	三竹 俊之
市村 豊	田代 満春	宮本 道男
太田 守	谷本 省吾	森田 邦雄
大友 秀文	丹野 久夫	森本 英敬
大宮 良文	土器屋美貴子	矢木沢徳弘
加藤 公夫	中村 忠雄	山本 哲也
齋藤 温子	新田 隆典	横山 敏
佐藤 基佳	野川 浩道	和田 明
柴田 雄二	林 俊克	佐藤 一也
砂川 敏文		

【5千円】

新井 敏孝	高橋 一夫	広瀬 清
大井 基寛	高橋 重剛	広瀬とも子
栗田志之利	高橋やす子	福本 幸久
小林 幹子	谷川 瑞穂	吉村 忠
佐々木沙紀	羽根田広幸	
佐野 幸男	濱崎 裕	

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

芦澤 明	工藤 均	中川 欣三
按田 佳幸	近藤 鍊三	中塚 靖彦
池田 奉昭	斉藤 正明	西田 譲
石田 正人	齋藤 千代	埜田 博実
磯野進三郎	坂井 清治	平山 正則
稲田 一郎	佐村 久夫	増本多喜子
宇井三喜子	杉山 智	三原 正士
横山 誠人	鈴木 政一	三好 雅史
大岩 成	鈴木 光則	御代田美一
横尾 博	鈴木 雄一	村上 豊
大山 洋	高桑 修	諸角 元二
恩田 求	高橋 秀清	山口 哲也
笠井 晋	竹迫 紘	山崎 孝雄
梶 隆	田中 秀明	由佐 壽朗
鎌田 正人	棚橋 祐治	吉野 英治
川崎 寧	塚本 篤	吉野 眞行
久住 正博	土屋 公男	米山 修

不掲載希望 32名

【個人・学内】（146名）

（五十音順・敬称略）

【30万円～50万】

門屋 充郎

【10万円～29万円】

井上 昇 内田 伸子

奥田 潔

【5万円～9万9千円】

大坪 秀典 山岸 仁

【1万円～4万9千円】

石原 鮎美 口田 圭吾

野並 雅章

石原 貴文 窪田さと子

福島 道広

大石 明広 倉園 久生

福田 健二

大林 姿子 玄 学南

牧 祐紀夫

小川 晴子 佐藤 健一

舛川 正晃

小田 賢一 高橋 伸治

宮原 和郎

小田 有二 千葉三都希

宗岡 寿美

笠原 誠人 塚本 孝志

村上 徹

門平 睦代 辻 修

森 正彦

嘉屋 元博 手塚 雅文

山本眞樹夫

川島 千帆 中野 昌明

和田 大輔

川村 正洋 西田 慎吾

【3千円～9千円】

生田 和哉 木村 美紀

花田 正明

石割 厚希 姜 興起

堀田 努

大橋 穰 坂本さや香

村上 文朗

小倉 真輝 杉田帆奈美

山口 将

海田 芳隆 高石 竜一

若木 海理

加藤 豊 中島 司典

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

相内 大吾	木田 克弥	花田 良江
穴澤 清幸	木村 賢人	早坂 和明
石井 利明	耕野 拓一	早坂 美穂
依藤 充明	後藤 達彦	古岡 秀文
梅津 一孝	小山 耕平	松井 基純
大西 明美	斉藤 準	松浦 佳子
大西 一光	佐々木基樹	松本高太郎
大和田琢二	佐藤 禎稔	三浦 秀穂
奥村 香世	谷 昌幸	宮本 明夫
折笠 善丈	David Campbell	村田浩一郎
角田裕喜美	得字 圭彦	山崎 栄樹
春日 純	豊留 孝仁	吉野 綾華
金山 紀久	中谷 慎志	
茅野 光範	西田 武弘	

不掲載希望 48名

その他の寄附者ご芳名

(平成31年3月31日現在)

【企業・団体等】(10団体)

(五十音順・敬称略)

【100万円】

敷島製パン株式会社

【～10万円】

帯広畜産大学剣道部OB会

北成建材工業株式会社

帯広の森動物クリニック

酪農乳業関係関東有志同窓会

ジャンボ動物病院

【企業・団体名のみ掲載希望の寄附者様】

帯広畜産大学卒業50年同期会(獣医学科, 草地学科)参加者一同

有限会社社台コーポレーション

不掲載希望 2団体

【個人・学外】(172名)

(五十音順・敬称略)

【50万円】

斉藤 篤

【10万円】

伊織 嬌子

金川 幹司

屋代 征治

岡井 健

平岡幹之助

【5万円】

戸塚 優

中岡 祐司

【3万円】

沖田 正憲

細井 一弘

三浦 輝雄

【2万円】

印牧 馨

佐藤 理映

【1万5千円】

早坂 純一

【1万円】

石川 諭史

澤田 拓士

真野 仁孝

岩崎 繁基

下道 宏作

丸山 純孝

岩波 道生

末広 彰

師田 郷太

亀尾 勇人
神林 昌也
國枝 昭
國寄 誠
久保 長旦

高橋 英三
高橋 繁男
高橋 次夫
豊野 学朋
早坂貴代史

横沢 冲彦
吉田 武徳
渡辺 睦実

【5千円】

伊藤 直吉
岡澤 茂

川島 徹
川畑 吉弘

中井 成也
松澤 滋

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

(五十音順・敬称略)

安部 忍
池水 千枝
石井 賢一
伊藤 仁志
乾 英二
井上憲太郎
岩佐 博仁
大坂 哲也
大杉 雄毅
大槻 啓二
大橋 進
岡村 真吾
奥田 善基
小原 裕光
小堀 洋二
折橋 秀夫
柏村 文郎
加藤 喜市
加藤 仁志
川田 泰正
河田 隆
菅野 宗夫
北島 隆男
鬼頭 勇夫
木下 正徳

久保田 学
倉田亜以土
高良 広之
古賀 元美
近藤 正一
坂口恵美子
佐々木健二
佐保 寛志
繁田 裕子
白戸 綾子
杉浦 信子
杉浦 互
鈴木 篤志
瀬田 俊志
池田 貴子
高嶋 浩一
高橋 弘
高本 豊壽
高安 皓一
建木 節雄
太島 聰
田中 静幸
田中 卓
山口 隆之
土田 幸雄

所 和暢
池田 友次
長澤 次郎
中村 芳則
西 武久
野村久美子
羽柴 清志
橋本 秀夫
羽田 昭夫
深沢 晃
不二崎順二
藤代 寛
益田 邦郎
松原 亘
三浦 和郎
水本 麻湖
村林 宏
矢島 大彰
山口 純子
山口 佳男
楊 仕元
吉田 定弘
和田 隆一
渡邊 清二

不掲載希望 56名

【個人・学内】

(五十音順・敬称略)

【10万円】

道見 康文

【2万円】

五十嵐郁男

【氏名のみ掲載希望の寄附者様】

荒谷 正樹 岩部 順

感謝状の贈呈

このたび、大学基金の賛助会員として多大なご支援をいただいた繁田 裕子氏、関澤 文夫氏、林 克昌氏、松崎 重範氏並びに社台コーポレーションに対して、奥田潔学長より感謝状を贈呈しました。

この感謝状は、平成22年4月に帯広畜産大学基金を創設以来、企業・団体等にあっては100万円以上、個人にあっては50万円以上のご寄附をいただいた方に対し、大学基金で定める「謝意表明の基本方針」に基づき、贈呈したものです。

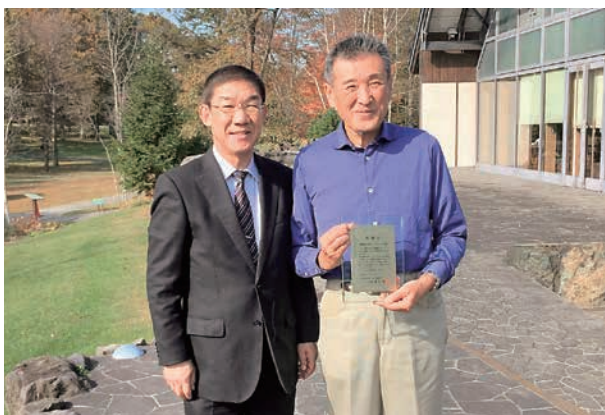
10月6日（土）に繁田 裕子様、関澤 文夫様、林 克昌様、松崎 重範様、10月22日（月）には、社台コーポレーションの吉田 勝己様へそれぞれ学長から感謝状を贈呈いたしました。

また、このたび寄附額の累計が1,000万円を超えた日本甜菜製糖株式会社に対しては、11月22日（木）に鈴木常務取締役へ学長から特別感謝状を贈呈しました。

なお、企業・団体等で20万円以上、個人にあっては10万円以上の寄附をされた方には、本学「かしわプラザ」に設置してある銘板に掲載させていただきます。



林様、繁田様、奥田学長、関澤様、松崎様（左から）



奥田学長、吉田 勝己氏（左から）



鈴木常務取締役と奥田学長（左から）

各同窓会支部会等への出席

平成30年度に開催された、各同窓会の支部会へ奥田学長をはじめ、及び教職員が出席し、同窓生の皆様と懇親を深めました。



6月9日 関東同窓会



9月9日 ブラジル支部同窓会（40周年）



9月29日 福島県支部同窓会



10月27日 九州・沖縄県支部創立50周年記念総会



11月10日 兵庫県支部同窓会



2月9日 関東地区産関係同窓会

「ちくだいホームカミングデー 2018」を開催

10月6日（土）に、講堂などにおいて、卒業生、修了生及び教職員OB・OGの皆様に、再び本学に足をお運びいただき、同窓生や在学生、教職員との交流を深めていただくために、「ちくだいホームカミングデー 2018」を帯広畜産大学同窓会と共催で開催し、全国各地から約150名（教職員含む）の方にご参加いただきました。



講堂前での集合写真

国立大学法人帯広畜産大学基金運営委員会委員名簿

構成員 15名（任期2年：平成30年4月1日～平成32年3月31日）

	職 名	氏 名
委員長	帯広畜産大学 学長	奥 田 潔
委 員	宮坂建設工業(株) 代表取締役社長	宮 坂 寿 文
	よつ葉乳業(株) 常務取締役 十勝主管工場長	川 瀬 博 教
	日本甜菜製糖(株) 常務取締役 芽室製糖所長	鈴 木 良 幸
	(株)ズコーシャ 代表取締役社長	関 本 裕 至
	十勝農業協同組合連合会 専務理事	高 橋 英 三
	帯広商工会議所 会頭	高 橋 勝 坦
	(株)土谷特殊農機具製作所 代表取締役社長	土 谷 紀 明
	(株)十勝毎日新聞社 代表取締役社長	林 浩 史
	帯広信用金庫 会長	増 田 正 二
	帯広畜産大学同窓会 会長	砂 川 敏 文
	帯広畜産大学 理事	柳 川 久
	帯広畜産大学 理事	井 上 昇
	帯広畜産大学 理事	門 屋 充 郎
	帯広畜産大学 副学長・事務局長	山 岸 仁

国立大学法人帯広畜産大学基金規程

(平成22年1月21日 規程第1号)

改正 平成28年7月29日 規程第30号 平成29年3月28日 規程第15号

(設 置)

第1条 国立大学法人帯広畜産大学（以下「本学」という。）に、経済的理由により修学に困難がある学生等を対象とした修学環境を支援するための基金として学生修学支援事業基金を、また大学運営及び社会貢献に関する活動を支援するための基金として大学運営支援事業基金を置く。

(学生修学支援事業基金)

第2条 学生修学支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。

- (1) 授業料、入学料又は寄宿料の免除等の経済的負担の軽減を図る事業
- (2) 学費を貸与又は給付する事業
- (3) 海外留学費用を給付する事業
- (4) 教育研究業務に従事させるための雇用経費を支給する事業

2 学生修学支援事業基金は、前項に定める事業を寄附目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(大学運営支援事業基金)

第3条 大学運営支援事業基金は、次の各号に掲げる事業の用に供するものとする。但し、前条第1項に掲げる事業を除く。

- (1) 教育研究環境の整備に関する事業
- (2) 社会貢献活動の支援に関する事業
- (3) 産業界、同窓生との連携に関する事業
- (4) その他本学運営のために必要な事業

2 大学運営支援事業基金は、前項に定める事業を目的とする寄附及びその運用による果実をもって構成する。

(基金の使途)

第4条 学長は、学生修学支援事業基金及び大学運営支援事業基金（以下「各基金」という。）の寄附の受入の決定にあたり、寄附者があらかじめ使途を特定しない場合においては、これを特定しなければならない。

2 各基金に対して納付された寄附金の使途は、変更してはならない。

(基金の運営)

第5条 各基金はそれぞれ区分して経理することとし、その運営は、各基金毎に受け入れる寄附及びその果実をもって充てる。

2 各基金の運営に関する重要事項の審議は、帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）が行う。

3 委員会の組織運営等については、別に定める。

(賛助会員)

第6条 各基金の目的に賛同する者は、学長の承認を受けて賛助会員となることができる。

2 賛助会員及び賛助会費に関し必要な事項は、別に定める。

(事業年度)

第7条 各基金の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(庶務)

第8条 各基金の庶務は、事務局関係課等の協力を得て、総務課基金・広報戦略室において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、各基金の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則(平成28年7月29日規程第30号)

この規程は、平成28年7月29日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則(平成29年3月28日規程第15号)

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

国立大学法人帯広畜産大学基金賛助会員規程

(平成22年1月21日 規程第2号)

改正 平成28年7月29日 規程第31号

(趣 旨)

第1条 国立大学法人帯広畜産大学基金規程(平成22年規程第1号)第6条第2項の規定に基づき、国立大学法人帯広畜産大学基金(以下「基金」という。)の事業活動をより充実したものとするため、この規程を定める。

(賛助会員)

第2条 賛助会員は、基金の目的に賛同し、事業に協力するものであって、様式1の申込書を提出し、かつ、この規程に定める賛助会費を納付した者とする。

(賛助会費)

第3条 賛助会費の額は、次のとおりとし、1口以上を申しこむことができる。

(1) 個人会員の場合は、1口年額5千円とする。ただし、教職員については、1口月額500円として申し込むことができる。

(2) 法人・団体会員の場合は、1口年額1万円とする。

(賛助会員の脱会等)

第4条 賛助会員で脱会しようとする者は、様式2の脱会届を提出するものとする。

2 賛助会員が賛助会費を納付しない時は、脱会したものとみなす。

(賛助会費納付金の運用)

第5条 賛助会員から納付された賛助会費は、基金の運用財産収入又は基本財産収入として経理し、運用する。

附 則

この規程は、平成22年1月21日から施行する。

附 則(平成28年7月29日規程第31号)

この規程は、平成28年7月29日から施行する。

国立大学法人帯広畜産大学基金運営委員会細則

(平成22年1月21日 細則第1号)

改正 平成24年2月16日 細則第12号 平成27年6月2日 細則第7号

平成28年5月24日 細則第4号

(趣 旨)

第1条 この細則は、国立大学法人帯広畜産大学基金規程（平成22年規程第1号）第5条第3項の規定に基づき、国立大学法人帯広畜産大学基金運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(任 務)

第2条 委員会は、帯広畜産大学基金（以下「基金」という。）の管理及び運営に関する次に掲げる事項について審議を行う。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 基金の予算及び決算に関する事項
- (3) 寄附の受け入れ及びその運用に関する事項
- (4) 寄附者への謝意表明の基本方針に関する事項
- (5) その他基金の管理及び運営に関する重要事項

(組 織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 理事
- (3) 大学の役員及び職員以外で大学に関し広くかつ高い識見を有するもののうちから、学長が指名する者 若干人
- (4) 帯広畜産大学同窓会役員の中から学長が指名する者 若干人
- (5) 事務局長
- (6) その他学長が必要と認めた者 若干人

(任 期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠又は増員による委員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長が指名した委員が、その職務を代行する。

(会 議)

第6条 委員会は、委員の過半数が出席し、かつ、第3条第3号の委員のうち少なくとも1名が出席しなければ、会議を開くことができない。

- 2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させて、その者から説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、事務局関係課等の協力を得て、基金・広報戦略室において処理する。

(雑則)

第9条 この細則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この細則は、平成22年1月21日から施行する。

2 この細則施行後、最初に任命される第3条第3号、第4号及び第6号の委員の任期は、第4条の規定にかかわらず、平成26年3月31日までとする。

附 則（平成24年2月16日細則第12号）

この細則は、平成24年2月16日から施行する。

附 則（平成27年6月2日細則第7号）

この細則は、平成27年6月2日から施行する。

附 則（平成28年5月24日細則第4号）

この細則は、平成28年5月24日から施行し、平成28年4月1日から適用する。



編集発行 帯広畜産大学基金・広報戦略室
所在地 〒080-8555
北海道帯広市稲田町西2線11番地
電話番号 (0155) 49-5995・5228
<http://www.obihiro.ac.jp/~u-kikin/index.html>
